筑紫女学園大学リポジト

# 7. The Use of Audio Visual Educational Materials for Piano Study



| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2017-02-22<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 穂坂, 卓, HOSAKA, Takashi<br>メールアドレス:<br>所属: |
| --- | --- |
| URL | https://chikushi-u.repo.nii.ac.jp/records/708 |

# ピアノ学習における視聴覚教材の活用

穂　坂　　卓

The Use of Audio Visual Educational Materials for Piano Study

Takashi HOSAKA

## 1．目的

保育現場におけるピアノの重要性はリズム・メロディー・ハーモニーの音楽三要素とオーケストラに匹敵する音域を持つ優位性にある。幼稚園教諭・保育士の採用試験においてもピアノ以外での音楽実技試験は声楽をおいて例をみないが，幼稚園教諭・保育士養成校におけるピアノ学習はピアノ初心者の学生，指導する教員において大変な負担となっている。そこで学生・教員の負担を軽減する方法として，2001年入学の幼児教育科１年生に視聴覚教材のビデオテープを学習補助教材として導入し，その利用に関する調査をし，一部の項目については2000年の１年生（演奏のみのカセットテープを補助教材とした）と比較して，考察した。

① ビデオテープ制作機材

| | | |
|---|---|---|
| ミニDVカメラ | SONY | DCR-TRV900（２台） |
| | SONY | DCR-TRV9H（１台） |
| 三脚 | SONY | VCT-870RM（２台） |
| | SONY | VCT-670RM（１台） |
| DVビデオデッキ | SONY | DHR-1000 |

S-VHSビデオデッキ　Panasonic　AG-5700
SONY　SVP-5600
SONY　SVO-5800

② 使用楽譜

大人のためのテクニックマスター１（ドレミ楽譜出版）
バイエル教則本（カワイ出版）

③ ビデオテープ制作内容

読譜法（音の高低）と鍵盤の整合性，音符（音の長短），拍子（２，３，４，６，）の演奏法，打鍵法を説明。

練習曲の楽譜を撮影し，注意すべき箇所の指使いを書込み，練習曲によって和声で理解しやすい場合はコードネームを付加して説明し，右手・左手を片手演奏し演奏困難な箇所は［］を付加して数回練習する例を示し，両手の演奏をした後，両手演奏で困難な箇所は［］を付加して数回練習する例（テンポを遅く→速く）を撮影した。

④ ピアノ演奏・説明・ビデオ撮影・ビデオ編集　筆者

⑤ 視聴覚教材のビデオテープの制作

ミニDVテープからS-VHSテープに編集ダビングしマザーテープを制作，VHSテープ（HG）にダビングし学生貸し出し用テープとした。

学生はＡ・Ｂ・Ｃグレードに評価されてスタートするため３種のテープをそれぞれ30本，計90本制作した。

テープの時間はＡグレード－120分，Ｂグレード－160分，Ｃグレード－160分となった。

各グレードの授業内容は表１。

表１　2000年，2001年　音楽Ｉ〔器楽〕グレード別授業内容

| グレード | 大人のためのテクニックマスター1 | バイエル教則本 | その他 |
|---|---|---|---|
| A | 抜粋　41曲 | 65番～90番から抜粋18曲（音階含む） | ミッキーマウスマーチ |
| B | なし | 65番～100番から抜粋32曲（音階含む） | ミッキーマウスマーチ<br>アンパンマンマーチ<br>静かな曲、仏教聖歌２曲 |
| C | なし | 80番～100番から抜粋16曲（音階含む） | ミッキーマウスマーチ<br>アンパンマンマーチ<br>静かな曲、仏教聖歌２曲<br>ブルクミュラー25の練習曲から４曲 |

⑥　撮影場所　筑紫女学園短期大学　413教室

⑦　使用楽器　スタインウエイピアノ　O型

⑧　貸し出し方法

音楽研究室から学生の申し出を受けて貸し出し，グレード終了後返却する制度とした。

## ２．方法

①　調査方法

質問紙法を用い，回答方法は選択方法とし，一部は自由記述とした。

②　調査対象

2001年度入学の幼児教育科１年生，110名　提出者　107名（回収率97％）

③　調査時期

2001年７月25日，音楽Ｉ〔器楽〕定期試験終了後

④　調査項目

〈ピアノ学習年数〉〈判定されたグレード〉〈判定されたグレードに対する満足度〉〈音楽Ⅰ〔器楽〕の授業内容の難易度〉〈音楽Ⅰ〔器楽〕の難度の理由〉〈音楽Ⅰ〔声楽〕，音楽Ⅰ〔理論〕との関連〉〈視聴覚教材のビデオテープの使用〉〈使用したビデオテープ種類〉〈ビデオテープの視聴場所〉〈ビデオテープ視聴度〉〈ビデオテープの画像〉〈ビデオテープの音声〉〈視聴覚教材ビデオテープの有効性〉〈有効性の内容〉〈無効性の内容〉〈視聴覚教材ビデオテープの改良点〉〈視聴覚教材ビデオテープの必要性〉

## 3．結果と考察

①　ピアノ学習年数（入学直後の調査で各年度共入学者全員）

表2

2000年　ピアノ学習年数

| 年　数 | 人数 | % |
|---|---|---|
| なし | 27 | 22.3 |
| 1年以内 | 9 | 7.4 |
| 1年～5年以内 | 35 | 28.9 |
| 5年～10年以内 | 32 | 26.5 |
| 10年～15年以内 | 18 | 14.9 |
| 計 | 121名 | 100% |

2001年　ピアノ学習年数

| 年　数 | 人数 | % |
|---|---|---|
| なし | 18 | 16.4 |
| 1年以内 | 19 | 17.2 |
| 1年～5年以内 | 31 | 28.2 |
| 5年～10年以内 | 24 | 21.8 |
| 10年～15年以内 | 18 | 16.4 |
| 計 | 110名 | 100% |

ピアノ学習年数は，ピアノの先生に就いて学習した年数を基準として調査した。

人数は2000年，2001年の入学者は11人の差には学生1名に対し15分の指導時間を基準に指導教員を対応している。学習年数の比較は大きく捉えると大差ない。例えば「なし」は2000年が多いが「1年以内」は2001年の方が多く1年～10年までの差は入学者の差と捉える方が妥当である。

② 判定されたグレード（入学直後の調査で各年度共入学者全員）

表 3

2000年　判定されたグレード

| グレード | 人数 | % |
|---|---|---|
| Aグレード | 60 | 49.6 |
| Bグレード | 48 | 39.7 |
| Cグレード | 13 | 10.7 |
| 計 | 121名 | 100% |

2001年　判定されたグレード

| グレード | 人数 | % |
|---|---|---|
| Aグレード | 46 | 41.8 |
| Bグレード | 52 | 47.3 |
| Cグレード | 12 | 10.9 |
| 計 | 110名 | 100% |

グレードの判定は入学オリエンテーションで「ピアノ学習経験者はピアノの実力を発揮できる曲を１曲準備して，１回目の音楽Ⅰ〔器楽〕の授業で弾く」ことを告示した結果でこれも大差ない。

③ 判定されたグレードに対する満足度

「妥当である」は99名，「不満である」は８名で，「不満」の内訳はBグレードと判定されたがAグレードが希望６名，Cグレードと判定されたがBグレードが希望２名，と実力より上に判定された事に「不満」と述べている。グレードの判定ミスへの対応は授業回数を重ねて柔軟に対応し，2001年度はBグレードが１名増加し調査結果は表４となった。

表４　入学後に判定されたグレード

| 判定されたグレード | 人数 |
|---|---|
| Aグレード | 42 |
| Bグレード | 53 |
| Cグレード | 12 |
| 計 | 107名 |

④　音楽Ⅰ〔器楽〕の授業内容の難易度

**表5　音楽Ⅰ〔器楽〕の難易度について**

| 難易度 | Aグレード | Bグレード | Cグレード | 計 | % |
|---|---|---|---|---|---|
| 易しかった | 0 | 2 | 1 | 3名 | 2.8 |
| 普通 | 9 | 21 | 6 | 36名 | 33.6 |
| 難しかった | 33 | 30 | 5 | 68名 | 63.6 |
| 計 | 42 | 53 | 12 | 107名 | 100% |

「難しかった」が68名で各グレードにいるが特にA，Bグレードに多く，ピアノ初心者にとって負担になっている事を示している。「難しかった」理由は表6にまとめた。

⑤　音楽Ⅰ〔器楽〕の「難しかった」（自由記述）理由

**表6　難しかった理由（複数回答可）**

| 難しかった理由 | Aグレード | Bグレード | Cグレード | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 楽譜が早く読めない | 20 | 12 | 1 | 33名 |
| 指が動かない | 15 | 8 | 0 | 23名 |
| 練習の方法が分からない | 1 | 3 | 0 | 4名 |
| その他 | 1 | 11 | 4 | 16名 |

A，Bグレード共「読譜」の悩み，「指」の運動機能の悩みが多いが，音楽学習経験，ピアノ学習経験を積まなければ解決できない要素が高い。「読譜」への対応は授業時間外に音符カードを制作し練習時間を設定したが解決はしてない事を示している。

「その他」（自由記述）では

Aグレード　練習時間の確保　1

Bグレード　練習時間の確保　2，本番に弱い　2，ミスタッチが多い　1，
指使いミス訂正　2，音ミス訂正　1，教員により指導が違う

2，無記入　1

Cグレード　曲が難しい　1，音の強弱の表現　1，1ヵ月ぶりに弾いててこずった　1，授業内容の曲が多すぎる　1

で，Bグレードの「本番に弱い」「ミスタッチが多い」のメンタル要素，「指使いミス・音ミスの訂正」での自主補正能力の悩み，Cグレードでは「音の強弱の表現」と，より高い音楽表現に向けての理由を述べている。

「教員により指導が違う」は指導教員の授業前打ち合せを密にして対応しなければならない。

⑥　音楽Ⅰ〔声楽〕，音楽Ⅰ〔理論〕との関連

**表7　音楽Ⅰ〔声楽〕・音楽Ⅰ〔理論〕との関連**

| グレード | 関連はあると感じた | 関連はないと感じた | 計 |
|---|---|---|---|
| Aグレード | 23 | 19 | 42名 |
| Bグレード | 32 | 18 | 50名 |
| Cグレード | 8 | 7 | 15名 |
| 計 | 63 | 44 | 107名 |

「関連はあると感じた」は63名で58.9%，「関連はないと感じた」は44名で41.1%であった。

音楽Ⅰは〔器楽〕，〔声楽〕，〔理論〕の3分野で1科目，2単位としているためいわば三位一体の授業が望ましいが，1年前期で3分野が関連していると感じる授業は，1分野に焦点を絞った授業にならざるを得ない。3分野担当の教員は学期の始めにはミーテングをして相互理解を深め，授業に臨んでいる。言葉のはしばしにも「声楽や理論でも習ったと思うけれども」と喚起しながら関連に気付いてもらい，応用力を養えばより音楽に理解を深めた学生を養成できる。

⑦　視聴覚教材のビデオテープの使用

「使用しなかった」は63名，「使用した」が44名で前質問と同じ回答数だった

ために「声楽・理論との関連」と因果関係があるかを調査してみた。結果は「使用した」と回答した内「関連はあると感じた」は26名,「関連はないと感じた」は18名で因果関係はなく「授業の手助けになるものは使用しよう」とする姿勢であろう。

表8

使用しなかった

| | 難易度 | 数 | 計 |
|---|---|---|---|
| Aグレード | 易しかった | 0 | 17 |
| | 普通 | 7 | |
| | 難しかった | 10 | |
| Bグレード | 易しかった | 2 | 34 |
| | 普通 | 16 | |
| | 難しかった | 16 | |
| Cグレード | 易しかった | 1 | 12 |
| | 普通 | 6 | |
| | 難しかった | 5 | |
| 計 | | | 63 |

使用した

| | 難易度 | 数 | 計 |
|---|---|---|---|
| Aグレード | 易しかった | 0 | 25 |
| | 普通 | 2 | |
| | 難しかった | 23 | |
| Bグレード | 易しかった | 0 | 19 |
| | 普通 | 5 | |
| | 難しかった | 14 | |
| Cグレード | 易しかった | 0 | 0 |
| | 普通 | 0 | |
| | 難しかった | 0 | |
| 計 | | | 44 |

グレード・授業内容の難易度と並列して見ると「使用した」はA・Bグレードのみで，難易度も「難しかった」と回答している者に多くみられる。

「使用しなかった」理由は

(1) 授業と自分の学習で充分，33名

(2) 入学前のピアノ習得で充分，14名

(3) 個人でピアノを習っている，4名

(4) ビデオテープの存在を知らなかった，2名

(5) 誰もがビデオテープを借りられるとは知らなかった，2名

(6) 指導の先生から言われなかった，2名

(7) 自力でやりたかった，1名

(8) 時間がなかった，１名

(9) 理由はない，１名

(10) 無記入，２名

で，使用しなくても充分である方が望ましく，(1)(7)の理由が増加して欲しい。

⑧ 使用したビデオテープの種類（複数回答可）

**表９　使用したビデオテープ（複数回答可）**

| ビデオテープ | | 人数 |
|---|---|---|
| A | 大人のためのテクニックマスター | 14名 |
| B | バイエルの　ハ調長音階から | 23名 |
| C | バイエル80番から | 33名 |

使用したビデオテープはグレードが高度になるほど多くなっている。

**表10　１人で使用したビデオテープ**

| ビデオテープ | A | B | C | A，B | B，C | A，C | A,B,C |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人　数 | 3 名 | 4 名 | 17 名 | 4 名 | 9 名 | 1 名 | 6 名 |

１人が使用したビデオテープを見ると，全グレード使用した学生は６名と少なく，学生は自分の能力不足を見極めて使用している。

⑨ ビデオテープの視聴場所（複数回答可）

「現住所」38名，「その他」７名であった。

「その他」（自由記述）では「学生寮」２名，「友人の家」２名「実家に帰って」１名，「親戚の家で」１名，「無記入」１名であった。

⑩ ビデオテープの視聴は充分できたか

「できた」は39名，「できなかった」５名であった。

「できなかった」（自由記述）理由は「時間がない」３名，「学生寮」１名，

「自分専用でないため視たい時に視られない」１名であった。ビデオテープの視聴場所と併せて考察すると少数ではあるが随分苦慮しているのを察する事ができる。

⑪　ビデオテープの画像

「鮮明」５名,「普通」36名,「不鮮明」３名だった。

「不鮮明」の結果は今後改善する必要がある。

⑫　ビデオテープの音声

「よく聞き取れた」10名,「普通」28名,「聞き取れなかった」６名で画像と共に改善の余地を残した。

⑬　視聴覚教材ビデオテープの有効性

「ビデオテープの内容は，音楽Ⅰ〔器楽〕の授業を受講するのに助けとなりましたか」の問には「助けとなった」41名,「助けとならなかった」３名であった。

⑭　有効性の内容

「助けとなった」（自由記述）では

| | | |
|---|---|---|
| Ａグレード | 「曲の把握」 | ９名 |
| | 「リズムの理解に役立てた」 | ５名 |
| | 「注意すべき箇所の把握」 | ４名 |
| | 「練習のポイントの把握」 | ２名 |
| | 「基本的ピアノ演奏法の理解」 | ２名 |
| | 「指使い」 | ２名 |
| | 「練習方法の理解」 | １名 |
| | 「読譜の理解」 | １名 |
| | 「楽譜を視ても理解できない箇所をビデオを視て理解した」 | １名 |
| | 「無記入」 | ２名 |

Bグレード 「曲の把握」 6名
「リズムの理解に役立てた」 6名
「基本的ピアノ演奏法の理解」 3名
「弾くべき曲のテンポ理解に役立てた」 2名
「強弱の表現方の理解」 2名
「片手演奏，両手演奏」 2名
「読譜の理解」 1名
「注意すべき箇所の把握」 1名
「自分のミスの発見に役立てた」 1名
「演奏タッチの理解」 1名
「練習方法の理解」 1名
「指使い」 1名

A，Bグレード共に「曲の把握」「リズムの理解に役立てた」が多く読譜力の弱さを示している。Aグレードで「助けとなった」内容はピアノ演奏の基本要素で，Bグレードで「助けとなった」内容は「テンポ」や「強弱」にみられる音楽表現要素に有効性を見いだしている。

⑮ 無効性の内容

「助けとならなかった」（自由記述）では

Aグレード 「早すぎて理解できない」（ピアノ学習経験なし）
「内容が理解できない」（ピアノ学習経験1年）

Bグレード 「すでに学習した内容」（ピアノ学習経験9年）

で，万人に理解できる教材を作る難しさを感じた。

⑯ 視聴覚教材ビデオテープの改良点

Aグレード 「楽譜が細かくて指番号の説明が見えない」 4名
「指がもっと見えるように写して欲しい」 2名
「両手の演奏を総ての曲入れて欲しい」 1名

「曲の頭が切れていた」　1名

「音が聞き取りにくかった」　1名

Bグレード　「両手の演奏を総ての曲入れて欲しい」　2名

「ピアノの鍵盤を上から写して欲しい」　1名

と実に細やかな指摘をしているが，より有効利用しようとする姿勢が見える。

「楽譜・指・ピアノの鍵盤を上から写す」は撮影方法，「音」はマイクの設定，それら以外は編集上のミスで今後の改良点としたい。

⑰　視聴覚教材ビデオテープの必要性

「音楽Ⅰ〔器楽〕の授業を受講する際，補助教材のビデオテープは必要ですか」の問には「必要」40名，「不要」4名であった。

⑱　授業内容終了者の比較

表11　2000年　授業内容終了者

| 授業回数 | グレード | 人数 | 総数 | 累計 | 累計% |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | A | 0 | 3 | 3 | 2.4 |
| | B | 1 | | | |
| | C | 2 | | | |
| 7 | A | 0 | 2 | 5 | 4.1 |
| | B | 1 | | | |
| | C | 1 | | | |
| 8 | A | 0 | 7 | 12 | 10.7 |
| | B | 4 | | | |
| | C | 3 | | | |
| 9 | A | 3 | 14 | 26 | 22.3 |
| | B | 8 | | | |
| | C | 3 | | | |
| 10 | A | 3 | 13 | 39 | 32.2 |
| | B | 9 | | | |
| | C | 1 | | | |
| 11 | A | 11 | 24 | 63 | 52.0 |
| | B | 11 | | | |
| | C | 2 | | | |
| 12 | A | 9 | 14 | 77 | 63.6 |
| | B | 5 | | | |
| | C | 0 | | | |
| 13 | A | 7 | 12 | 89 | 73.5 |
| | B | 4 | | | |
| | C | 1 | | | |

| 授業回数 | グレード | 人数 | 総数 | 累計 | 累計% |
|---|---|---|---|---|---|
| 14 | A | 4 | 6 | 95 | 78.5 |
| | B | 2 | | | |
| | C | 0 | | | |

| 授業回数 | グレード | 人数 | 総数 | 累計 | 累計% |
|---|---|---|---|---|---|
| 15 | A | 13 | 16 | 111 | 91.7 |
| | B | 3 | | | |
| | C | 0 | | | |
| 授業内容未終了 | A | 10 | 10 | 121 | 100 |

表12　2001年　授業内容終了者

| 授業回数 | グレード | 人数 | 総数 | 累計 | 累計% |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | A | 1 | 6 | 6 | 5.4 |
| | B | 2 | | | |
| | C | 3 | | | |
| 8 | A | 0 | 4 | 10 | 9.0 |
| | B | 4 | | | |
| | C | 0 | | | |
| 9 | A | 0 | 9 | 19 | 17.2 |
| | B | 7 | | | |
| | C | 2 | | | |
| 10 | A | 4 | 14 | 33 | 30.0 |
| | B | 8 | | | |
| | C | 2 | | | |
| 11 | A | 11 | 24 | 57 | 51.8 |
| | B | 9 | | | |
| | C | 4 | | | |

| 授業回数 | グレード | 人数 | 総数 | 累計 | 累計% |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | A | 10 | 21 | 78 | 70.9 |
| | B | 10 | | | |
| | C | 1 | | | |
| 13 | A | 2 | 5 | 83 | 75.4 |
| | B | 3 | | | |
| | C | 0 | | | |
| 14 | A | 11 | 19 | 102 | 92.7 |
| | B | 8 | | | |
| | C | 0 | | | |
| 15 | A | 1 | 1 | 103 | 93.6 |
| | B | 0 | | | |
| | C | 0 | | | |
| 授業内容未終了 | A | 7 | 7 | 110 | 100 |

授業内容終了者の2000年と2001年を比較すると，14回目の授業で差が出た事と，授業内容終了者の累計%の差が，2001年は少し高い数値を示しただけであったが，数字には出ない教員の精神的負担が少なかった事を記しておきたい。

## 4．まとめ

今回視聴覚教材制作を決意したのはミニDVビデオカメラの出現で，照明が無くても明るく撮影できる・ダビングをしても画質の劣化が少ない事を経験したためだった。しかしミニDVからS-VHSに編集する際のS-VHSビデオデッキが現時点では高性能と言いがたい機器であったのが残念である。

撮影技術の未熟さもあり，楽譜を撮影するカメラアングル，音を明瞭にするためのマイク設定とテープ編集の不手際と問題点は多い。

学生が抱える問題点は，読譜力を付ける・ビデオテープの視聴場所と時間の確保がある。

ビデオテープを使用した44人中，40人（約91％）が必要と回答し，学生の視聴力は実にきめ細かい事を確認し今後の視聴覚教材制作に役立てたい。

### 参考文献

井上直幸『ピアノ奏法』，春秋社，1998
小林仁『ピアノの練習室』，春秋社，1988
ジョセフ・レヴィーン『ピアノ奏法の基礎』，全音楽譜出版社，1980
リーベルマン『現代ピアノ演奏テクニック』，音楽之友，1978